

地域協会紹介 No.9

今回は、光市介護支援専門員連絡協議会の高島会長よりご紹介させていただきます。



理事会風景の写真です(光中央病院の4F会議室にて)。普段は自由な意見交換が出来る様に堅苦しくない雰囲気心がけているのですが、皆さん写真慣れしていないので私も含め(右奥)緊張して表情が硬いです。

皆さんお疲れ様です。光市介護支援専門員連絡協議会の会長を努めさせて頂いてます高島です。

このたび活動について貴重なご紹介のページを頂きまして有難うございます。文章に不慣れな為読みづらいかと思いますがどうかご容赦頂きたく思います。

現在夏休みの季節でもありますので、光市と聞かれますと皆さん虹ヶ浜や室積海水浴場、伊藤公資料館などを頭に思い浮かべられる方も多いのではないのでしょうか。

しかし一方では人口におきましては、平成25年時点で、約5万人のうち、65歳以上の方が16000人を超えるなど高齢化が30%を超えて進んでおり、年々独居の方も増加している状況でもあります。

このように従来のように医療・福祉・行政が単独での対応が困難な状況を踏まえて、私達光市介護支援専門員連絡協議会では、それぞれが顔の見える関係と協力体制作りを目指し日々活動に取り組んでおります。

具体的な活動と致しましては、月に1度の理事会を開催し(写真上)、そのなかで病院のMSWと協力して医療連携情報シート(仮称)の作成や、研修会や総会の打ち合わせ、光市「ケアマネっと」(年1回の情報誌)発行等の話し合いなどをおこなっています。

直近の7月の活動と致しましては、

- ・7月8日(火)光市と共催で、光市介護支援専門員研修会において、「災害対策机上訓練」の実施、
- ・7月15日(金)認知症高齢者等徘徊模擬訓練に参加し、徘徊者役として協力などを致しました。

この徘徊模擬訓練につきましては、認知症の人が行方不明になったという設定のもと、数名のグループで徘徊者を探して声の掛け方などを練習するものです。当日は晴天に恵まれ、連日の大雨と打って変わり夏場の熱中症対策としてこまめな水分補給などの対策も必要なほどでしたが、それも含め「暑さで行方不明者が倒れているのではないか」、「何を手がかりに早期発見ができるのか」、「また発見したらどう声を掛けたらよいか」など実践をおこないながら、それぞれ真剣に取り組んでおられました。

本協議会の理事の面々も、変装もさる事ながら実際の立ち振る舞いも徘徊者役の本物と疑ってしまうような「迷演技？」でした。(写真下)



今回の模擬訓練の場所は島田地区中心に行いました。

島田川に沿って東方面、上下に長い地区になりますが、集合場所である

光市民ホール近隣の熊野神社、松浦神社、日本最古の

朝鮮鐘(国指定重要文化財)がある賀茂神社などが有名です。(写真は平成橋より)。

次回は10月末に岩田地区での徘徊模擬訓練を予定しており協力予定です。

また今後の予定としましては、

- ・10月25日(土)に周南市・下松市・光市(主宰)での周南圏域3市合同CM研修会を企画しております。

内容としましては地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院消化器科医長 高島元成(たかしまもと)Drによる講演と、オープニングアクトとして「がっちゃんとんこ&まりりん」による演奏会を企画しております。

皆さんお誘い合わせの上是非ご参加頂ければと思います。

文章の終わりになりましたが、現在地域包括ケアシステムの構築といった大きなテーマが叫ばれております。

冒頭申しました光市では豊富な観光資源がありますが、

医療・福祉分野から見た資源におきまして、

理解のある医療関係者や、親身になって対応される行政の方々、

日々積極的に活動されているNPO法人、家族会など建物や制度だけでない多くの人的な社会資源があります。

それらを身近な相談者である私達ケアマネージャーが率先して足を運び、顔の見える関係をつないでいく事で「高齢や障害の方こそ安心して暮らせる輝く光市」になるよう微力ながらお力添えをさせて頂きたいと思っております。(テーマとしては「光」「人」「資源」「協力」「輝く」などのニュアンスを含むひかRimix(仮称)とさせて頂きます)

今後とも皆さんの暖かいご理解とご支援の程をどうぞ宜しくお願い致します。



左から河下理事、棟近理事、兼行副会長です。上記写真と見比べて頂けると徘徊者として、私服での変装ぶり(?)に意気込みが見て取れます。

ちなみに河下理事は畑仕事に出かけて行方が分からなくなった男性というストーリーで麦藁帽子に熱中症対策も兼ねたネッククーラーにペットボトルを持参されていました。

